

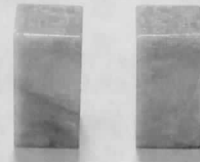
「名品に親しむ～文房具展」開催

本特別展では、筆、墨、硯といった身近な用具から、中国の文人たちが愛玩した印章や古代青銅器などの文物、水墨画や石碑の拓本、また中国皇帝の宮廷で所蔵されていた道具類など、広い範囲にわたる文房具関連の資料をご覧頂きます。

○印材

印材とは、印章(はんこ)をつくるための材料のことをいいます。

中国の宋代(979～1279)のころから、文人たちの間で、自己の作品や所蔵品に落款印や所蔵印を押すことが流行しました。それにとまって「篆刻」(印材の印面に文字を彫ること)も盛んになり、明代(1368～1644)には一種の芸術として認められるようになります。印章そのものも賞玩の対象となり、鉗(つまみの部分)や側面に彫刻が施され、また田黄や青田石、昌化石といった希少な石材などが用いられるようになりました。



青田石 一对



三色昌化石 一对
(浜村コレクション)



田黄
刻
宜子孫
印



浜村大澗コレクション

・浜村大澗コレクション

篆刻家の浜村大澗(四世浜村蔵六、1826～95)が収集した印材。

大澗は備前岡山(現岡山県邑久郡牛窓町)の人。嘉永5年(1852)江戸へ出、万延元年(1860)に断絶していた浜村家を継ぐ。

著名な篆刻家として名を馳せるとともに、地域の名士としても活躍した。明治20年5月榎本武揚とともに建てた「墨提植桜之碑」は、墨田区登録文化財に認定されている。

問合せ先

都留市博物館「ミュージアム都留」

☎(45)8008・☎(45)8608

分館増田誠美術館(ふるさと会館2階)

☎(45)4111

会期	6月22日(日)まで
開館時間	午前9時～午後4時30分(入館は4時まで)
休館日	5月6・12・19・20・26日 6月2・9・16・17日
観覧料金	
一般	600円(420円)
高校・大学生	400円(280円)
小・中学生	200円(140円)
	()内は20名以上の団体料金です。

城下町奉行だより

行楽期の高速道路に おける交通事故防止

大型連休に入ると車で旅行する機会が多くなります。高速道路を安全に利用するために次のことを守りましょう。

まず、出発前には

- 体の調子を整えておきましょう
- 出発前夜はゆっくり休む
- 1時間運転したら休息をする
- サービスイリア・パーキングエリアなどを利用する。
- 無理のない運転計画を立てる

○出発前には車両の点検を必ず実施する

- ・ガソリン、エンジン・ブレーキオイル、冷却水の補充及び点検
- ・タイヤの空気圧の点検
- ・停止表示板、発炎筒など携帯物の確認

そして、運転中は

- 高速道路走行の鉄則(高速道路安全五則)
- ①安全速度を守る
- ②十分な車間距離をとる
- ③割り込みをしない
- ④わき見運転をしない
- ⑤路肩を走らない

シートベルト・チャイルドシートを着用し、キープレフト走行を守り重大事故を防ぎましょう。



「家に帰るまで

安全運転を忘れずに」